平成27年度　大阪府立岬高等学校　第２回学校協議会　議事録

平成27年10月９日（金）午後３時～

於　岬高等学校　校長室

出席者　【委員】見先　梅川　松本　西本　清井　安宮　（敬称略）

　　　　【岬高校】校長　教頭（２名）　事務長　首席　指導養護教諭代理

　　　　　　　　　教務部長　進路指導部長　生徒指導部長　保健部長　国際交流委員長代理

特別支援コーディネーター　人権教育推進委員長　山海人PT委員長

１．【学校長挨拶】（要旨）

　・忌憚の無いご意見をお願いいたします。

　・学校協議会委員の紹介

　・学校協議会事務局、第２回参加者の紹介

２．【報告事項】

　教頭より、学校協議会実施要項について

　平成27年度　学校経営計画の進捗状況　各担当者より報告

　○中期的目標１－１　学習活動の充実　教務部より報告

　　少人数指導（少人数展開、教員複数配置による授業）の実施により、生徒一人ひとりに目が行き届きやすく、より手厚い指導が可能になっています。来年度、１年生より、エンパワメントスクール（総合学科）となり、

　　１クラス35名（昨年度エンパワメントスクール実績）、学び直しの１年基礎国語、基礎数学、基礎英語の授業

　　は２クラス３展開（１講座約23名）で行う予定です。

現在、年２回の授業公開週間を設定しています。また、PowerPointやiPadなどを活用した授業を実施してい

ます。今年度、４階９教室にプロジェクタ（電子黒板）が備え付けられました。

　　追認指導・学年末の補習について、今年度の１学期に行われた講習の出欠状況については出席率が47％でした。

　　追認指導の効果を検証し、教員間で問題点の共有を行い、２学期や年度末の指導へフィードバックする必要が

あります。エンパワメントスクール改編に伴って、現在と同様に時間割を組むなどが物理的に困難になるため、

学期追認指導の在り方や方法を再検討する必要があります。

委　　員：来年度の１年生の授業教材はどういったものを使うのか。

教務部長：先行３校を参考に、岬高校にあったものを使う。

委　　員：第１学年の使用教科書が少ないが。

教務部長：教育委員会指定の教材もあるので、教科書が少ない。

○中期的目標１－２　特別活動の充実

中期的目標１－３　人権教育、道徳教育に基づいたキャリア教育の充実と「寄り添う」「粘り強い」生徒指導

の展開　生徒指導部より報告

　従来の「立ち番」のやり方に少し変化をつけ行っています。喫煙などの問題行動の抑止や、きっちりと制服やネクタイ・リボンを着用する生徒の割合の上昇などに成果をあげています。

　また、遅刻指導の内容（雑巾指導の廃止）、日程（毎日から週２回程度へ）の変更も行いました。

委　　員：茶髪、問題行動を起こす生徒が減り、良い雰囲気になっている。

委　　員：今朝の登校時は生徒が階段等でたまらずに、早く校舎へ上がっていった。良い傾向である。

委　　員：小学校から規範意識が無い子が多いのでしんどい。地域の学校として、岬中学校と岬高校の連携を

　　　　　深めたい。クラブ活動の面でも良い連携ができれば。

委　　員：朝の登校を見ていると見た目は良くなっている。ぽつぽつ遅刻してくる子がなくなればピカイチ。

委　　員：暴れたりする子はいない。喫煙は少しある。

委　　員：保護者の立場からすると茶・金髪への指導が甘い。このような子がいるので岬高校の他の子への世間

　　　　　からの目は厳しくなる。校則は社会に出る最後のルールであるので、厳しくしてほしい。

委　　員：茶・金髪にするのは家庭の問題。学校は厳しくするのは簡単。家庭のしつけが第一である。

委　　員：生徒はなめている。教員にも協力して頂きたい。

○中期的目標１－２　特別活動の充実　保健部より報告

　６月15日（月）４限終了後、防災訓練を行いました。グラウンドにて、集合・点呼完了まで10分40秒と比

較的スムーズに避難できたと思われます。

　６月18日（木）14時20分～15時10分、薬物乱用防止教室（講師：泉南警察 生活安全課・交通課）を行い

ました。社会問題となっている薬物の危険性について１年生を対象に、DVDを使用して講演をしていただきま

した。また、交通課の方からは、今年６月から改正道路交通法が施行されたことについての話（特に自転車に

ついて）をしていただきました。

○中期的目標１－２　台湾高級中学との学生交流事業について　国際交流委員会より報告

　平成27年度は11月５日（木）に台湾基隆女子高級中学が来校し、12月13日（日）～16日（水）に本校から

　台湾への研修を行います。台湾研修については昨年より応募者が増加しました。また、事前説明会において挙

　手をして質問をする生徒がいたり、選考のための作文を早々から熟考する生徒が出るなどして、参加に対する

生徒の意欲が例年よりも向上しているように感じられました。

　○中期的目標１－２　山海人プロジェクト　山海人委員会より報告

平成21年度に大阪府教育委員会「スクールカラー・サポートプラン」に指定され、翌年度、活動内容を発展

させた「MISAKIプロジェクト2010」として２年連続指定を受け、現在は、教育活動の一環として「山海人プ

ロジェクト」を位置づけ、地域の方々と連携して活動を継続しています。今年度は11月18日（水）の実施。

10月下旬に開催の第２回地域連絡協議会を経て内容が決定する予定です。

　委　　員：クワ、スコップを持ったことのない生徒もいるので、事前指導等も考えてほしい。

　委　　員：里山ではタバコを１番気にしている。竹林では作業場所から離れて参加していない子がいる。

　山海人委員長：９月18日（金）に里山へ下見に行かせていただいた。その点については第２回地域連絡協議会

でも詰めていきたい。

　委　　員：男子はダメ。女子は本当にしっかりやってくれている。

　○中期的目標１－３　人権教育、道徳教育に基づいたキャリア教育の充実と「寄り添う」「粘り強い」生徒指導

の展開　進路指導部より報告

　１次の求人票について、好景気の影響もあり、ここ数年で最も多い362件（うちWeb求人38件）でした。

就職１次受験者は85名でした。８月27日現在の進学状況は専門学校AO入試合格者10名、指定校推薦件数は

　４年制大学39件、短期大学25件、専門学校100件です。進学者数は昨年度と同程度の見込みですが、大学希望者が大幅に増加しています。　今年度のキャリア教育及び進路実現に向けた取り組み状況は記載の通りです。

就職について、これから２次の応募が始まります。合同求人説明会やハローワークにも生徒を連れて行く予定です。

委　　員：４年制大学が今までは減っていたと思うが。

進路部長：今年は例年になく多い。昨年の倍くらいはいる。

委　　員：エゴグラムとは何か。

進路部長：性格検査。こういう仕事が向いているといったもの。進路決定のきっかけの１つである。

○中期的目標１－３　人権教育、道徳教育に基づいたキャリア教育の充実と「寄り添う」「粘り強い」生徒指導

の展開　人権教育推進委員会より報告

　取組み内容として、人権教育推進委員会を５回実施しました。これまでのところ、学校内で大きな差別事象は

　発生していません。１年生では入学式後「親の思い」をつづってもらい、懇談で利用しました。また、ピアサ

　ポートプログラムをHRの時間を利用し、実施しています。２年生は「人間関係づくり」で自己肯定感を高め

るグループワークトレーニングに取り組みました。３年生は進路に向けて「統一用紙」の意義などをHRで学

　びました。また、「福祉」選択生徒は授業に嵯峨根望さんを講師に招き、シッティングバレーボールを体験し

　ました。生徒会執行部の生徒が11月の研究発表に向けてヒューマンライツフォーラム生徒実行委員として参

　加します。

名簿に関して、現在は男女別名簿ですが、来年度以降は男女混合名簿にしていくよう、職員会議で話あってい

ます。

　委　　員：親の思い、昔もやっていたが、良いと思う。統一用紙のHRでの学び方はどうなっているのか。

教育相談委員長：親の思いについて、個人名を伏せて、読んでもらい、生徒が感じることを聞いた。親がこんな

に思ってくれているのかと感じていた。

　人権推進委員長：統一用紙について、こんなことがあるんだよというHRの内容。

○中期的目標１－４　コミュニケーション能力の育成と人間関係構築への支援　教育相談委員会より報告

　毎週１回の木曜日３時間目の教育相談会議において、心配される生徒について対応を検討、必要と考えられる

　生徒についてはスクールカウンセラーへの相談に引き継いでいます。特に支援が必要と考えられる生徒につい

ては、特別支援検討委員会議を開催しています。本年度は１回開催し、17名について支援の方向性を考えまし

た。TTAP事業について、一昨年度は研修・準備などに取り組みました。３年目の本年度は昨年度に引き続き、

１名の生徒が実施中です。

ADHDの生徒について、中学の間は通級でしたが、岬高校では普通クラスで行っています。課題をさせるとき、左から右に写すことは難しいですが、上から下に写すことは可能です。また、きつい暴言をよくはいていた生徒について、イライラしたときはきつい暴言ではなく、違う言葉に置き換えるよう指導してきています。

　委　　員：特別支援教育について、子どもの特性にあったきめ細かい指導をしている。

　○中期的目標３　人材の育成と管理　首席より報告

　　次年度第一学年（エンパワメントスクール１期生）の担任団の発表を1学期末に行いました。第二、三学年担

任団については、持ち上がりを原則としていますが、2学期中には正式に発表予定です。早期に次年度担任を

発表することで、引き継ぎや具体的な準備を進めていきます。教員の資質向上のため、記載の通り、校内研修

を行いました。また、エンパワメントスクールへの改編に向けての研修にも参加しました。

平成27年度　第１回授業アンケート結果　校長より説明

　　保健体育、水産、外国語、数学のアンケート結果を参考に比較した所、実技科目では高い数字を出しています。

　外国語、数学など座学に関しては平均となっています。全体の結果より、授業計画の目標は3.05でありまし

たが、3.08と超えています。課題としては、生徒意識１，２については3.00を下回る残念な結果となってい

るところです。

委　　員：生徒意識が低いのは、授業が何につながっているのか、わかっていないからなのか。

校　　長：はっきりとした理由はわからない。

３．【協議事項】（見先協議会長の司会進行）

エンパワメントスクール設置について　校長がパンフレットを使用し、説明

　表紙は青い空、白い雲の中でこのひまわりのようにたくましく育ってほしいという願いから作成しています。

　裏表紙は家から岬高校までの通学時間が見てわかるように、時間的イメージを持ってもらうためのものです。

　（育みたい力、４つの系列、学習環境、教育課程、アドミッションポリシーの順番に説明。）本年度は、エンパワメントスクールへの移行に伴う福祉実習室の改修工事、フグの養殖用水槽、ミサキルームの整備を実施していきます。

委　　員：準備が大変。入試が変わるということで、中学校の進路説明会にも例年に比べ多くの保護者が来た。

　　　　　できれば、中学、高校が同じ方向で入試に向かっていければ。

委　　員：エンパワメントスクールは５校だけか。

校　　長：今は３校、来年は２校。その先もできてくる。

委　　員：自己申告票は自分で書くのではなく、他の力が加わってしまう。頑張る生徒をもっととる仕組みを考

えてほしい。

校　　長：真面目にコツコツ頑張る生徒をとりたい。

司　　会：そろそろ時間もきましたので。

　教　　頭：協議会の皆様、ありがとうございました。貴重なご意見をいただきまして、岬高校のさらなる発展に

つなげていきたいと思います。次回の開催は１月を予定しております。以上で終了いたします。